

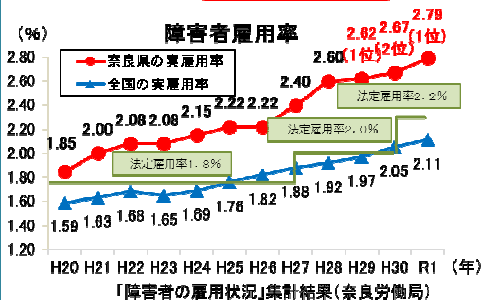
# I 栄える「都」をつくる 2 働き方改革の推進と就業支援

## (11) 障害者雇用対策の推進

これまでは

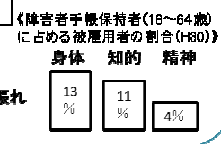
障害者雇用率は、全国トップクラスを続けています。県内雇用者の皆さまのおかげです。

平成30年全国2位、  
令和元年再び全国1位



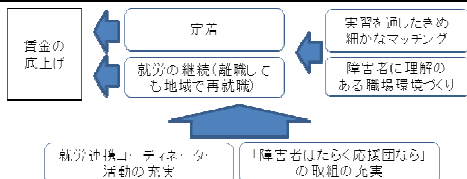
### 奈良県障害者雇用の課題

- 精神障害者の雇用割合が低い
- 総じて労働時間が短い
- 低賃金と身分不安定の要因
- 精神障害の離職に症状・体調の振れが影響
- 就業1年後には1/3~1/2が離職



もっと良くするために

障害者が就労により自立した生活を送ることが目標



なら障害者「はたらく」推進事業、精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業、障害者職場実習促進事業を実施します。

- はたらく応援団ならの運営(100万円)
- (新)企業応援集中セミナーの開催(100万円)
- 就労連携コーディネーターの配置(110万円)
- 精神保健福祉士などを雇用促進コーディネーターとして派遣(90万円)
- 職場実習先にジョブサポーター派遣(100万円)



令和2年度予算案 230万円

R2予算案 22,500千円

### なら障害者「はたらく」推進事業

奈良県と奈良労働局が共同で応援団を運営し、障害者雇用に積極的に取り組む企業等を登録したうえで、障害者のニーズに応じた職場実習の受入の拡大や雇用機会の創出の支援など、官民が一体となって障害者の就労を支援

#### ○はたらく応援団ならの運営(1,166千円)

障害者雇用に積極的に取り組む企業等を登録し、障害者のニーズに応じた職場実習や雇用機会の創出をバックアップ

#### ○(新) 企業応援集中セミナーの開催(199千円)

障害特性に応じた対応や職場環境の整備に役立つ実践的な知識や技能を習得するための講座を企業の担当者を対象に開催



#### ○就労連携コーディネーターの配置(10,808千円)

障害者就労にかかる支援機関等との調整や、個別の企業への訪問及び実習依頼により、就労の一元的支援を実施



<高齢者施設での介護業務>



<花壇の苗付け作業>

### 精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業

平成30年度から精神障害者も雇用義務の対象とされ、法定雇用率が2.0%から2.2%に引き上げられたことを受け、精神障害者の雇用促進・職場定着を支援

#### ○精神保健福祉士などを雇用促進コーディネーターとして派遣(9,537千円)

精神障害者や発達障害者の障害特性に応じた就労支援体制を構築するため、精神保健福祉士などの専門家を雇用促進コーディネーターとして派遣し、精神障害者等を雇用する企業等を支援



### 障害者職場実習促進事業

#### ○職場実習先にジョブサポーターを派遣(790千円)

就労体験を通じて一般就労への意識や動機付けを図るため、職場実習先などの企業にジョブサポーターを派遣して、障害者の職場実習を円滑かつ効果的に実施できるよう支援

<問い合わせ先>

福祉医療部  
障害福祉課 田中課長補佐(内線2832)

# I 栄える「都」をつくる 2 働き方改革の推進と就業支援

## (12) 外国人労働者県内定着対策

これまでの

県内の外国人労働者数は、5,563人(全国約165万人の0.3%(R1.10末))。体制は不十分な状態。(県内企業は、採用方法が分からない、受入体制が整っていない状況。県内就労希望外国人には、企業支援が少ない、就職活動の仕組みが分からない状況。)

○外国人の産業分野別就労割合は、製造業の分野が多く、宿泊業・飲食サービス業の分野が少ない状況

業種	製造業	サービス業	卸売・小売業	建設業	宿泊業・飲食サービス業
奈良県	42.2	14.7	9.2	8.9	6.0
全国	29.1	16.1	12.8	11.6	12.6

奈良県では有効求人倍率が高いセクターもあり、令和元年10月では、建築・建設関係職種6.49倍(全国5.90倍)、飲食調理職の職種6.21倍(全国3.79倍)、介護関係職種6.04倍(全国4.60倍)、外国人労働者の円滑な県内受入と良好な生活環境の創出・維持が必要です。

業種	建築・建設	飲食調理	介護
奈良県	6.49	6.21	6.04
全国	5.90	3.79	4.60

R1.10の有効求人倍率

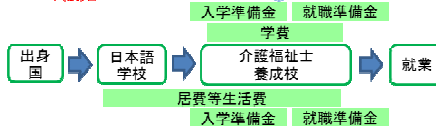
### もっと良くするために

外国人労働者が円滑に県内で就労し、良好な生活環境で定着できる仕組みを構築します。

○(新)留学生等の県内就業円滑化を支援(3百万円)

○奈良県で不足している介護職員の定着を支援(47百万円)

・介護福祉士修学資金貸付制度の貸付要件・募集枠の拡充



・居住費等生活費などの貸付  
いずれも県内福祉施設で5年間就労すれば、貸付金返還免除

○多文化共生・国際化の講座・研修会等を実施(1百万円)

○円滑な県内定着の取組方策を検討(1百万円)

令和2年度予算案 52百万円

R2予算案 52,096千円

### 現状の課題

企業	採用方法が分からない。受入体制が整っていない。
外国人	企業情報・求人情報が少ない。日本の就職活動のしくみが分からない。

### 【R元年度】

○県内就業率の向上や高度外国人材の県内企業での就労促進に向けた調査・分析

### 【R2年度】

①留学生等の県内就職促進  
(2,900千円)

- ・**新**留学生等の外国人雇用を検討する県内企業を対象としたセミナーを開催
- ・**新**県内大学の留学生等を対象とした奈良県企業の合同説明会を開催

②外国人介護福祉士受入支援、介護分野への多様な人材参入促進  
(47,832千円)

- ・外国人介護福祉士候補者を受け入れた介護施設が実施する日本語学習及び介護分野の専門学習を支援
- ・外国人介護人材受入スタートアップセミナー、外国人介護人材受入意見交換会の開催
- ・**新**外国人介護人材受入施設が行う環境整備に対する補助
- ・介護福祉士の資格取得を目指す外国人留学生の修学を支援する法人に対し費用の一部を支援
- ・介護福祉士修学資金貸付制度の貸付要件・募集枠を拡充

③多文化共生・国際化の推進  
(864千円)

- ・高校生を対象とした国際交流・国際理解を深める講座の開催
- ・行政職員を対象とした外国人相談対応に関する研修会等の開催

④円滑な県内定着に向けた取組の検討  
(500千円)

- ・**新**R元実施の調査・分析結果を踏まえた取組を推進するため、関係者から意見聴取

○外国人の県内就労及び良好な生活環境の提供等を推進するため、産業・観光・雇用振興部に「外国人・人材活用推進室」を設置

### <問い合わせ先>

- ①④ 産業・雇用振興部 雇用政策課 市橋主幹(内線3572)
- ② 福祉医療部 長寿・福祉人材確保対策課 北村課長(内線3210)
- ③ 知事公室 国際課 杉村課長補佐(内線2151)

## Ⅱ 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、  
観光産業を振興する～

## Ⅱ 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着 (13) ホテル誘致

### これまで

ホテル客室数は、まだ近畿で最下位です(全国でも最下位クラス)。ハイエンド観光客に対応した高級ホテルもありますが、近年、ホテル客室数が増加してきました。



年	奈良県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	和歌山県
S61年度	603室	2,108室	10,742室	25,525室	9,352室	892室
H29年度	4,409室	9,143室	27,038室	71,193室	29,578室	5,924室

(出典:厚生労働省「衛生行政報告例」より「ホテル客室数」※平成30年度より、旅館・ホテルの区分が統合された)

### もっと良くするために

2025年の大阪・関西万博の開催を好機ととらえ、**バラエティのある上質なホテル誘致**を加速します。R2～R4の3年間で1,000室以上増加予定。

○JETRO奈良事務所と連携し、ハイレベルのスポーツ合宿、セミナー・イベント等に対応可能なホテル誘致をきめ細やかに実施(1百万円)

NAFIC周辺に**食・農・眺望を活かした賑わいづくり**を推進(162百万円)〔債務負担行為1,581百万円〕

NAFIC附属セミナーハウス 眺望のよい上段部へ民間事業者を誘致 (R4に供用開始予定)



令和2年度予算案 163百万円〔債務負担行為1,581百万円〕

R2予算案 163,280千円 [債務負担行為 1,581,263千円]

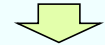
### ① ホテル誘致の推進 (1,000千円)

JETRO奈良事務所と連携し、ホテル誘致活動を効果的に実施

- 海外ホテル事業者の奈良への招聘  
→ 用地・建物視察、日本側パートナー企業との面談  
外資系企業関係者等からの情報収集
- 国内での誘致活動  
→ 外資系企業への個別訪問、他府県先進事例調査

県内ホテル客室数の状況

平成26年～令和元年(6年間)  
約1,200室増加



令和2年～令和4年(3年間)  
1,000室以上増加予定

### ② NAFIC周辺の賑わいづくり (162,280千円、R3債務負担行為 1,581,263千円)

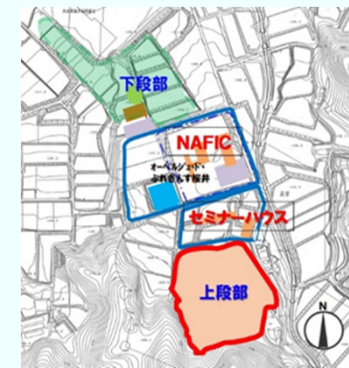
なら食と農の魅力創造国際大学校(NAFIC)とオーベルジュの機能や立地を活かし、NAFICを核とした賑わいづくりを推進

- ・NAFIC附属セミナーハウスの整備

平成30年度 造成工事  
令和元年度 外構設計  
令和2～3年度 建築工事・外構工事  
令和4年度 供用開始予定



- ・眺望のよいセミナーハウスの上段部への集客施設整備に向けた民間事業者の誘致



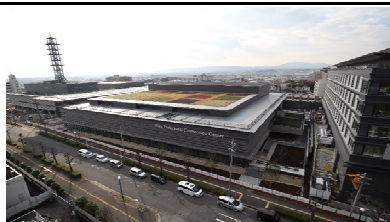
### <問い合わせ先>

- ①観光局 インバウンド・宿泊戦略室 吉岡室長補佐(内線2588)
- ②農林部 担い手・農地マネジメント課 喜多仲課長補佐(内線4022)  
農村振興課 長谷川主幹(内線3909)

## Ⅱ 賑わう「都」をつくる 3 滞在型観光の定着 (14) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

### これまでは

これまで奈良になかった大型コンベンション施設と、国際ブランドホテルが令和2年4月、奈良市大宮通り(県営プール跡地)に誕生します。



奈良県コンベンションセンター(全景)



天平広場



コンベンションホール

### もっと良くするために

奈良県コンベンションセンターを活用した、  
①MICEの誘致、②新しい賑わいの創出、  
③県内への訪問客の展開、を行います。

#### ①MICE誘致活動強化と施設の運営(118百万円)

- ・大規模国際会議開催のため、トップセールスを継続。
- ・県、奈良県デジタルズビューローによる積極的な誘致活動を展開。(県にMICE推進室を設置)
- ・交流拠点全体の運営アドバイスをを行うコミッションの設立を検討

#### ②新しい賑わいの創出(49百万円)

- ・天平広場のオープンスペースを活かしたイベントを定期的に開催
- ・コンベンション連携イベント、パークアンドバスライドの促進

#### ③県内への訪問客展開のための体制整備

- ・交流拠点全体のタウンマネジメント協議会を定期開催
- ・ユニークベニュー(歴史的建造物等での会議・レセプション開催)の活用や体験型ツアーの実施
- ・バスターミナルを活用し県内観光地への2次観光を展開
- ・奈良の歴史文化に詳しいボランティアの養成・組織化

令和2年度予算案 167百万円

R2予算案 167,392千円

### ○ コンベンション施設の運営(SPC) (117,910千円)

- ・国際会議や医学学会等MICEの誘致推進
- ・賑わいの創出
- ・タウンマネジメント協議会の運営
- ・施設運営

### ○ 新賑わいの創出、MICEの誘致推進(県) (49,482千円)

- ・賑わい創出イベントの開催
- ・コンベンション連携イベントの開催
- ・大規模MICEの誘致推進
- ・パークアンドバスライドの促進

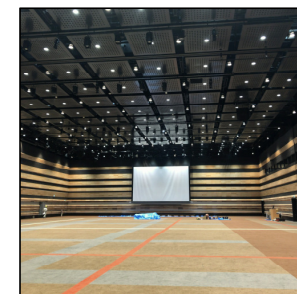
○MICE誘致を推進するため、観光局に「MICE推進室」を設置



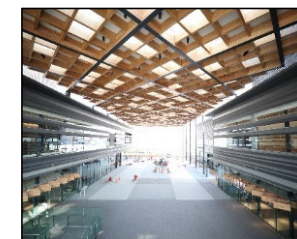
奈良県コンベンションセンター(全景)

### <施設の概要>

所在地	奈良市三条大路1丁目
敷地面積/延床面積	約2.3ha / 約35,000㎡
階数	地下2階 地上2階(一部3階)
コンベンション施設	1階 コンベンションホール、小会議室 2階 中会議室 (国際会議、学術系会議、セミナー、地域の集会・会議等)
屋外多目的広場	大屋根付き屋外広場(天平広場) (朝市、マルシェ、ランチタイムコンサート等)
観光振興施設 屋内多目的広場	1階・2階 飲食・物販施設 (県産品・県食材等を活用した物販、カフェ、レストラン等) 2階 劇場(天平ホール) (音楽コンサート等のライブイベント、映画上映、展示イベント等)
駐車場、バスターミナル	駐車場 400台、バス乗り場、待合所等 (空港リムジンバス等の発着場)



コンベンションホール



天平広場

奈良県コンベンションセンターは、  
令和2年4月1日オープン

### <問い合わせ先>

まちづくり推進局 大宮通り新ホテル・交流拠点事業室  
楠本室長補佐(内線4262)